

VLADIMIR FEDOSEYEV,

Artistic Director and Chief Conductor

TCHAIKOVSKY SYMPHONY ORCHESTRA

87歳の巨匠が新たな伝説を生む!

45年に及ぶモスクワ放送交響楽団時代からの信頼

日露の盟友二人とともに贈る

究極のプログラム

Program

Alexander Kniazev, Cello 3.16公演

チャイコフスキー:
弦楽セレナーデ ハ長調 作品48

P. I. Tchaikovsky: Serenade for Strings in C Major, Op. 48

ロココ風の主題による変奏曲 イ長調 作品33

P. I. Tchaikovsky: Variations on a Rococo Theme in A Major, Op. 33

チェロ:アレクサンドル・クニャーゼフ

3.17公演

Michie Koyama, Piano

ラフマニノフ:
ヴォカリーズ 作品34-14

S. Rachmaninov: Vocalise, Op. 34, No. 14

ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 作品18

S. Rachmaninov: Piano Concerto No. 2 in C Minor, Op. 18

ピアノ:小山実稚恵

ハチャトゥリアン:
バレエ音楽「ガイヌ」、「仮面舞踏会」
フェドセーエフ・セレクション

A. Khachaturian: The Ballet "Gayane" and "Masquerade",
Fedoseyev selection

チャイコフスキー:
交響曲第6番 ロ短調 「悲愴」 作品74

P. I. Tchaikovsky: Symphony No. 6 in B Minor, Op. 74, "Pathétique"

2020. **3.16** [月] **17** [火] 19:00開演 (18:30開場) **サントリーホール**

Monday, 16 March 2020, 7p.m. & Tuesday, 17 March 2020, 7p.m. at Suntory Hall Tokyo

入場料: S¥17,000 A¥14,000 B¥10,000 C¥7,000 D¥4,000 9/14(土)10:00~発売開始

チケットお申込み:

イープラス <http://eplus.jp/> (PC&携帯)

チケットぴあ 0570-02-9999 (音声自動応答・Pコード: 161-566) <http://t.pia.jp/> (PC&携帯)

ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター対応10:00~20:00) <http://l-tike.com/> (PC&携帯)

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 <http://suntory.jp/HALL/>

協力: キングインターナショナル、ソニーミュージックレーベルズ、ロシア文化フェスティバル組織委員会

後援: ロシア連邦大使館

主催・お問合せ: AMATI Tel.03-3560-3010 <http://www.amati-tokyo.com> 〒107-0052 東京都港区赤坂1-14-5-S201



ウラディーミル・フェドセーエフ

[芸術監督・首席指揮者]

チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ

87歳を迎えた世界の巨匠マエストロ・フェドセーエフが、自ら家族と呼ぶオーケストラと、春の訪れとともに日本へと帰ってきてくれます。

ソリストに、コンサートのみならずレコーディングでもマエストロが絶大な信頼を寄せる日本とロシアのパートナーを指名。

彼らの最も得意とするチャイコフスキー、ラフマニノフの協奏曲の傑作を取り上げます。

そしてオーケストラ作品には、このコンビネーションでしか聴けないエキサイティングで迫力溢れる王道作品が選りすぐられています。

ハチャトリアンでは、もちろん誰もが待ち望んでいる、あの名パーカッショニストも登場。

ウラディーミル・フェドセーエフとチャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラが贈る究極の二晩、どうぞお聴き逃しなく！



ウラディーミル・フェドセーエフ
Vladimir Fedoseyev, Artistic Director and Chief Conductor
芸術監督・首席指揮者

1932年レニングラード(現 Санктペテルブルグ)生まれ。74年、モスクワ放送交響楽団(現チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ)の芸術監督及び首席指揮者に就任。以後40年を越えるパートナーシップを築いてオーケストラをロシアのトップクラスの楽団に育て上げ、世界ツアーを通じて海外

での評価も確立している。ロシア以外でも、バイエルン、ケルン、シュトゥットガルトの各放送響、ドレスデン・フィル、フランス国立管、ベルギー国立管、チューリヒ・トーンハレ管、フィンランド放送響、クリエヴァンド、デトロイト、ピッツバーグ等欧米各国のオーケストラにも客演。97年から2004年までウィーン交響楽団の首席指揮者も務めた。オペラ分野でも精力的に活躍、チューリッヒ、ウィーン、ミラノ、フィレンツェ、ローマ、ボローニャ、ポリシヨイ、マリンスキー等の歌劇場や音楽祭の指揮台上に上がっている。また2013年の初共演以来、NHK交響楽団の指揮台上に定期的に登場、日本国内での人気をますます高めている。



アレクサンドル・クニャーゼフ
Alexander Kniazev, Cello

チェロ

力強く抒情的な演奏で定評のある現代ロシアを代表するチェリスト、そしてロストロポーヴィチの真の後継者とも謳われている。1990年にはチャイコフスキー国際音楽コンクール第2位。これまでスヴェトラノフ、テミルカーノフ、ロストロポーヴィチ、フェドセーエフ、ヴェデルニコフ、プレトニョフ、デュトフ、N.ヤルヴィ、

ロシア国立響、 Санктペテルブルク・フィル、チャイコフスキー響、ウィーン響、ロイヤル・フィル、バイエルン放送響、フランス国立管、エーテボリ響等にソリストとして招かれている。室内楽にも情熱を注ぎ、キーシン、レーピン、ルガンスキー、ベレゾフスキー、レオンスカヤ等と共演。ロシア各地はもちろん、アムステルダム、コンセルトヘボウ、ロンドンのウィグモアホール、ニューヨークのリンカーンセンター、ブリュッセルのパレ・デ・ボ・ザール、ウィーンのムジークフェライン、パリのサル・プレイエル等でも演奏している。

二度のバッハ「無伴奏チェロ組曲」をはじめ数々のCDもグラモフォン、ディアパソン・ドール、エコー等の賞を受賞されるなど絶賛されている。

チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ

Tchaikovsky Symphony Orchestra

モスクワ放送交響楽団として1930年に創立。74年から現在に至るまで、ウラディーミル・フェドセーエフに率いられている。歴代の指揮者にはアレクサンドル・オルロフ、ニコライ・ゴロヴァーノフ、アレクサンドル・ガウク、ゲンナジー・ロジストヴェンスキー等が名を連ね、レパートリーを管弦楽曲のみならず、カンタータ、オラトリオ、オペラまで、そして古典から数々の現代作品の初演まで充実させていった。93年にはロシア文化省、国際チャイコフスキー協会、チャイコフスキー博物館の任命によりチャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラに名称を改め、ロシアが誇る偉大な作曲家の音楽をウィーン、ロンドン、パリ、ミラノ、ミュンヘン、ジュネーヴ、ストックホルム、オスロ、プラハ、東京など世界中のコンサートホール、そして数々のレコーディングで広めるためにますます大きな役割を果たすこととなる。また、ザルツブルク、エディンバラをはじめとする世界有数の音楽祭にも定期的も招かれている。レコーディングもレコード時代から数え切れない程の名盤を残しており、2020年には待望の新譜もリリースされる予定。2017年秋以来3年振りの来日。



小山実稚恵
Michie Koyama, Piano

ピアノ

人気・実力ともに日本を代表するピアニスト。チャイコフスキー、ショパンの二大コンクールに入賞した唯一の日本人ピアニスト。2017年までの『12年間・24回リサイタルシリーズ』は、演奏内容と企画性に於いて高い評価を受けた。19年から『ベートーヴェン、そして・・・』が全国6都市でスタート。国内の主要

オーケストラはもとより、チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ、ベルリン響、ロイヤル・フィル、BBC響、シンフォニア・ヴァルソヴィアなどと共演しており、国際的指揮者との共演も多い。協奏曲のレパートリーは60曲を超える。東日本大震災以降、被災地でも演奏を行い、仙台では被災地活動の一環として自ら企画立案した「こどもの夢ひらば「ボレロ」」を毎年開催している。ソニーから30枚目となる『バッハ:ゴルトベルク変奏曲』をリリース。また著書には『点と魂と』等がある。05年度 文化庁芸術祭大賞、13年度 東燃ゼネラル音楽賞本賞、15年度 文化庁芸術祭優秀賞、16年度 芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。17年度 紫綬褒章受章。

クニャーゼフによるブラームス

MIRARE RARE



ブラームス：
チェロ・ソナタ第1番 短調Op.38
チェロ・ソナタ第2番 長調Op.99
ヴァイオリン・ソナタ第3番 短調Op.108
(チェロのための編曲版)

アレクサンドル・クニャーゼフ (チェロ)
アンドレイ・コロベイニコフ (ピアノ)
録音：2014年10月/
バイエルン放送スタジオ2 (ミュンヘン)

●MIR 270 (CD) / 直輸入盤・オープン価格

ロシアのチェロ名手、アレクサンドル・クニャーゼフと、ロシアの異才ピアニスト、アンドレイ・コロベイニコフによるブラームス。クニャーゼフの豊かな音楽性と毅然たる風格漂う演奏、そして透徹された美しい音色をもつコロベイニコフのピアノが、ブラームス晩年の寂寥感に満ちた音楽を描き出しています。

輸入・販売元/株式会社キングインターナショナル <http://www.kinginternational.co.jp>

小山実稚恵CD絶賛発売中



ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番
バガニニの主題による狂詩曲

アンドリュウ・デイヴィス指揮BBC交響楽団
CD:SRCC 9140

ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第3番
ピアノ・ソナタ第2番 (1913年初版)

ウラディーミル・フェドセーエフ指揮モスクワ放送交響楽団 CD:SICC 121



ソニーミュージック公式サイト <https://www.sonymusic.co.jp/artist/MichieKoyama/>